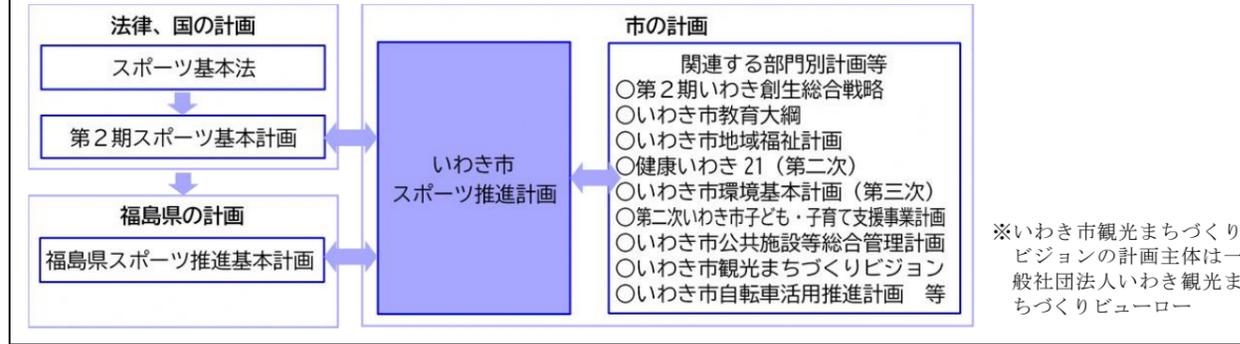




計画策定の背景

本市のスポーツを取り巻く環境の変化や市民ニーズを踏まえつつ、国の「第2期スポーツ基本計画」や「いわき創生総合戦略」など、他の計画との整合を図りながら、スポーツを通じた市民の健康づくり、さらにはスポーツを通じた地域活性化やまちづくりを目指して、今後のスポーツ施策を総合的かつ計画的に推進するため、新たに「いわき市スポーツ推進計画」を策定するものです。

計画の位置づけ



計画の期間

本計画は、令和3年度から令和12年度までの10年間とし、本市を取り巻く社会情勢の変化や計画の進捗状況等を分析・評価し、必要に応じた見直しを、5年を目途に行うものとします。

本市のスポーツを取り巻く現状

社会情勢等の変化

- 人口減少、少子・高齢化の進行
- スポーツによる健康づくりへの注目
- ライフスタイルの多様化
- 新たなスポーツ種目の増加
- 施設の老朽化
- スポーツによる地域活性化への期待
- いわきFCの誕生、日本パラサイクリング連盟の本市への移転
- 東京2020大会とRWC2019の大会のレガシー(遺産)
- 新型コロナウイルス感染症に伴うスポーツ活動の変化

市民スポーツ活動の現状

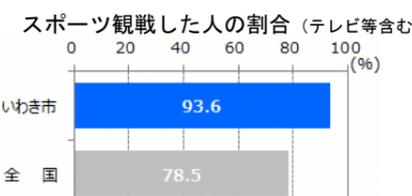
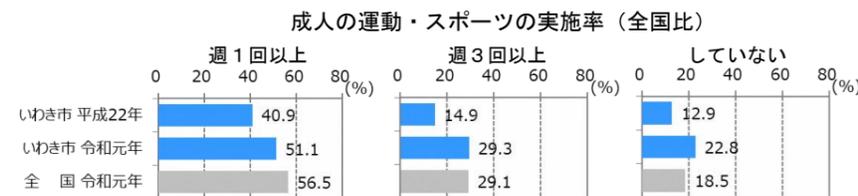
- 成人の週1回以上運動・スポーツ実施率は増加しているが、全国値を下回っている
- 頻度高く実施している高齢者などと全く実施しない人の二極化
- 働き盛りや子育てなど、30歳から49歳までの女性の実施率が低い
- 実施できなかった理由は、「仕事や家事が忙しかったから」が最も多い
- 団体スポーツなどの実施率が高く、健康づくりや個人の種類の実施率が低い
- 小・中学生の体力は、全国平均値を下回っている
- スポーツ少年団の団体数と中学校の運動部の部員数・入部率は減少
- 高齢者の実施率は高く、頻度も多い
- 生活習慣病での死亡割合は全国平均より高く、医療費は県平均を上回っている
- 観戦実施率は全国値を上回っている
- 過去にスポーツを支える活動をしたことがある市民の割合は16.3%

スポーツ関係団体・事業者の現状

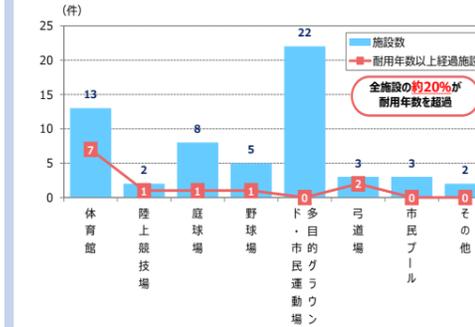
- 競技スポーツ関係、生涯スポーツ関係、学校関係などの各団体が連携した取組みを行っている。
- 多くの団体で指導者が不足しており、また、高齢化が進んでいる。
- プロスポーツチーム「いわきFC」は、市民の健康増進やスポーツ人財育成、観光振興などに取組みを行っている。

スポーツ施設の現状・利用実態

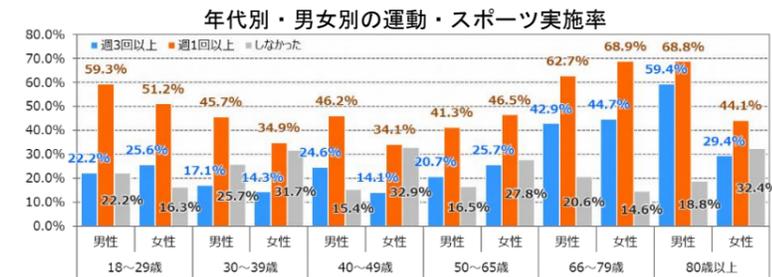
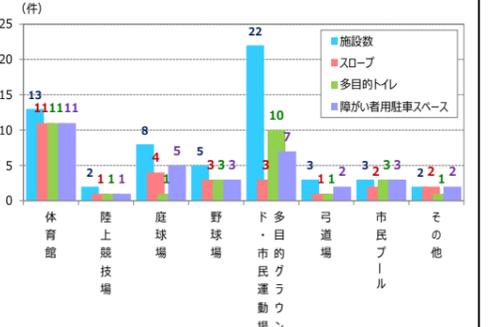
- 各地区に一定水準の施設が立地しているが、大規模施設は市街地に集中
- 最も多い市民ニーズは「施設・設備の充実」
- 耐震化やバリアフリー化など取り組んでいるが、多くの施設は建設後30年以上経過



スポーツ施設の耐用年数超過施設数



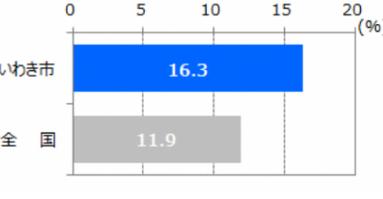
スポーツ施設のバリアフリー化の状況



シルバーリハビリ体操への参加人数の推移



支える側で活動した人の割合



スポーツ大会・イベントの現状

- 市民参加型から全国・世界規模まで、様々な大会・イベントを開催
- 「いわき市スポーツコミッション」と充実した宿泊施設を活かした合宿誘致

現状から見た課題

生涯にわたってスポーツに取り組むために

- 子どもの健康な体づくり
- ビジネスパーソンのスポーツ機会の充実
- 高齢者・障がい者のスポーツ推進

スポーツ環境を整えるために

- スポーツ指導者の育成・充実
- スポーツ施設・設備の充実
- 情報提供・発信の充実

地域活性化につなげるために

- スポーツ合宿・イベントの誘致
- 東京2020大会とRWC2019の大会レガシーの継承



基本方針

「スポーツでつながるまち いわき」

～健康で豊かなスポーツライフの実現と
スポーツとともに生きるまちづくり～

10の基本目標の観点



目標指標

Table with columns: 指標 (Indicator), 現状 (Current Status), 目標指標 令和12年度 (Target Indicator FY2020). Rows include participation rates, physical fitness, life expectancy, and regional activation metrics.

基本目標

具体的な取組み

Main table with 10 rows corresponding to goals. Columns: 基本目標 (Basic Goal), 具体的な取組み (Specific Measures). Rows cover participation promotion, base preparation, and regional activation.

計画の進行管理

・市民（個人・家庭・地域）・民間事業者・学校・スポーツ関係団体や関係機関及び市が、各々の役割を果たしつつ、多様な主体と相互に連携して「協働」による取組みを積極的に実践
・PDCA サイクルの継続的改善手法により進行管理し、また、目標指標の達成状況を定期的に確認・評価するとともに、市民ニーズの把握に努めつつ、いわき市スポーツ推進審議会の意見等を踏まえて改善